



2011.1.13~1.30

onとoffのスイッチ

私をひらく6つのチカラ



應典院寺町倶楽部

應典院寺町倶楽部は、劇場型寺院「應典院」を拠点に多彩な芸術文化活動を展開するNPOです。「寺子屋トーク」や「いのちと出会う会」や舞台芸術祭「space×drama」や「木曜サロン<circolo>」など、1997年の設立以来、寺院をまちに開き、学び、遊びの場の創造を通じて、生活文化を豊かにする多様な実践に取り組んでいます。

543-0076 大阪市天王寺区下寺町1-1-27
TEL 06-6771-7641 FAX 06-6770-3147
info@outenin.com <http://www.outenin.com>

「コムズフェスタ」とは1998年から應典院にて開催されているアートと社会活動のための総合文化祭です。毎年掲げられた固有のテーマに即し、各種、トークイベント、演劇、展示、ワークショップが展開されます。

昨年は阪神・淡路大震災15年という年に、若者を中心とした「私」と「社会」のつながり方（編集力）に着目しました。そして、ともに考え、こたえをつくる、そうしてよりよいあしたを見つめるということに迫りました。また、人のうごきに根ざす思いが、あそび心を交えて受け止められ、他者とであう契機となることも確認しました。そこで今年度もまた、悲しみや楽しみをみつめ、その意味をつづり、豊かな関係性をつむぐ、大切な時間を、あなたへ贈ります。

今年のテーマは「onとoffのスイッチ～私をひらく6つのチカラ」。日常と非日常、仕事と暮らし、バーチャルとリアル、起きると寝る、そして生と死…。私たちは何気なく、オンとオフのモードの切り替えをしながら、日々、ひと・かね・ものに触れてきています。今回はそうした「モード」の変化を支える要素に着目します。

6つのチカラとは、きおく、かたり、ちかい、ばしょ、かたち、からだ。これらに対して、トーク（レクチャー・ワークショップ・シンポジウム）、演劇、展示、映像、音楽、そしてインターネットメディアなど6つの方法で接近してきます。ご期待ください。

記憶のチカラ 想起と忘却のスイッチ



箱庭小庭～自己との対話

1/17(月)・25(火)・30(日) 11:00～15:00

應典院の2階にある「カウンセリングルーム」では應典院の本寺・大蓮寺によるバドマ幼稚園の元保護者の皆さんらのセルフヘルプグループが「箱庭療法」の勉強会を実施されています。今回、その部屋とプログラムを一般に公開。1人15分の体験と感想交流で「無意識」との対面を図ります。30日のみ13時から村山實さん(オフィス・M主宰)らのトーク有。

参加費:無料/予約優先(15名程度)



fence works「プレイバックシアター」

1/25(火)10:30～18:30・26(水) 10:30～17:30

8月に應典院で開催した「それぞれの人生をプレイバック(再生)する身体表現の場、第2弾。ワークショップと劇団フェンスによるパフォーマンス、そしてトークです。ファシリテーターはPTProduceの橋本久仁彦さん。2日目からダンサーの黒子沙菜恵さんが加わります。橋本さんとのトークゲストは秋田光彦大蓮寺住職(25日)、黒子沙菜恵さん(26日)らの日替わり。

参加費:1日のみ5,000円・2日通し9,000円/予約優先



remoscope workshop in 天王寺七坂

1/30(日) 10:00～15:00

NPO法人remoによって考案された「固定カメラ/無音/無加工/無編集/ズーム無し/最長1分」で映像を撮影するワークショップ。生と死が対話する上町台地の特に天王寺七坂界限にて、これまでの暮らしの記憶を紐解き直しながら、さまざまな視点で切り取って作品をつくり、句会のように鑑賞しあいます。(機材は用意いたします)

参加費:無料/要予約(10名)

*上町台地マイルドHOPEゾーン協議会主催「オープン台地」プログラム
(企画:remo記録と表現とメディアのための組織)

語りのチカラ 発話と傾聴のスイッチ



耕読会in應典院

～ルーマン『システム理論入門』

1/13(木) 18:30～20:30

鳥取県真庭町で開催されてきた「本を読んで知識や認識を耕す」意味を重ねた「耕読会」を4月から應典院で開催中。今回、「時間」と「意味」そして「コミュニケーション」について、社会学者・ニクラス・ルーマンの講義録『システム理論入門』(新泉社)をもとに語り合います。進行役は山口(中上)悦子さん(大阪市立大学医学部附属病院安全管理対策室専任医師)

参加費:500円/予約不要



まちづくりゼミナール～「かっこよさ」の復権へ

1/27(木) 18:30～20:30

かっこよく生きる、思いやりを抱いて生きる上で、必要なのは自己と他者への「愛」。2009年度のcommonsフェスタにて空間構成「トランスパブリック」と行動展示「エクソダス」を手がけた花村周寛さん(主幹)をゲストに迎え、「愛」のバランスについて語り合います。聞き手は公共性を専門とする社会学者・関嘉寛さん(関西学院大学社会学部准教授)

参加費:500円/予約不要



ソーシャル・イノベーションセミナー

1/28(金) 18:30～20:00

社会変革や社会革新などと訳される「ソーシャル・イノベーション」。同志社大学大学院総合政策科学研究科のソーシャル・イノベーション研究コースでは、それを「世直しと人助け」と呼んでいます。今回、そのコースに学ぶ院生と教員らがセミナーを企画。テーマは「地域を支える公共性の新しいかたち:コミュニケーションデザインの観点から」。

参加費:1,000円/予約優先

*同志社校友会大阪支部・産官学部会(LCC)主催プロジェクト・ラボ

誓いのチカラ 拘泥と刹那のスイッチ



グリーンタイム

1/22(土) 13:00~17:00

奇数月第4土曜に應典院で開催されているワーク。今回は通常よりも時間を延長し、失った大切な人やモノとのつながりを感じていきます。部屋から一歩出て、應典院の中や外を、五感で感じることで、つながりを積極的に実感していきます。人やものを想う時間を、「大切に」「ゆっくりと」過ごしてみませんか？ファシリテーターは臨床心理士の宮原俊也さん。

参加費：500円／要予約



詩の学校

1/26(水) 19:00~21:30

詩と死は同じ「シ」と読み、詩は「ごんべん」に「寺」と書く…。詩人・上田假奈代さんによる「詩の学校」も、應典院で開催されて13年目を数えます。「生と死」「悲しみと喪失」を言葉にすべく、今回は初めての本堂ホールでの開催。筆記用具、ノートか紙を持参。ファシリテーターは詩人の上田假奈代さん(NPO法人こえとことばとこころの部屋[cocoroom]代表)

参加費：1,000円／予約不要

場所のチカラ 開放と閉鎖のスイッチ



会場空間構成：[ひび・たえまなく・いとなみ…]

1/13(木)~30(日) 10:00~20:00

今年も commonsフェスタのテーマに即して應典院全館が期間中に「変身」。今年は舞台美術作家の高島奈々さん(七色夢想)が手がけます。また、鑑賞者の参加で展示の内容と意味も「深化」。会期中の土曜日午後には高島さんも滞在制作。

鑑賞・参加費：無料／予約不要



クロージングトーク

～<いのち>を支える三角関係

1/30(日) 15:00~18:15

18日にわたるフェスティバルの最後を飾るのが「<いのち>を支える三角関係」と題したトークセッション。表現・創造・支援の3つの切り口から、今回の commonsフェスタの意味を改めて紐解きます。参加者には特製のバッジを進呈。

参加費：100円／予約不要

on

型式のチカラ 継承と創造のスイッチ



お寺MEETING

1/18(火) 18:30~20:30

時代の変化の中で、お寺と社会の新しい関係を見いだしたい。6月の「ネット世代は、寺院を変えるか」に続くシリーズ第2弾のテーマは「なぜ宗教者がホームレス支援なのか〜信仰と社会の狭間で」。東京の吉水岳彦さん(浄土宗僧侶・社会慈善委員会ひとさじの会事務局長)、金子昭さん(天理大学 おやさと研究所教授)を招き、秋田光彦(大蓮寺・應典院住職)をモデレーターに語り合います。

参加費:500円/予約優先



おとな(へ)のスイッチ〜もうひとつの成人式

1/24(月) 18:30~21:30

未成年を脱するモードチェンジの大きな節目である「成人式」。でも、いま行われている成人式では、その節目を実感し、「おとな」への移行について、自分の考えを深めることは難しいでしょう。そもそも「おとな」になるとは? 「おとな」としての自分は何を大切に、生きていくのか...。こうした問いかけを巡って語りあうワークショップを実施。ファシリテーターはシチズンシップ共育企画の川中大輔さんと鈴木陵さん。

参加費:500円/予約優先



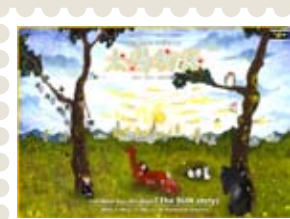
暮らしへのクラシック〜音楽の新しい味わいかた

1/20(木) 18:30~20:30

単に「古い」のではなく「風化しない」という意味を持つ「クラシック音楽」。そこには多様な作り方・弾き方・聴き方・使い方などの型を見いだせます。そこで実際に音源を聴き、日頃抱くイメージなどから語り合います。型式が持つ力を先入観を持って捉えるのではなく、いかに楽しむことができるか。温故知新ならぬ「音故知新」の場。ナビゲーターは秋田光軌さん(應典院・クラシックファン)。

参加費:500円/予約優先

身体のチカラ 作動と停止のスイッチ



満月動物園「太陽物語」

1/14(金)~16(日)

「シセツ」で育った「カゾク」の約束。自分たちだけで送り出す葬式。森の奥に隠した秘密。「カゾク」からの、「カゾク」への、旅立ちの物語。演出・脚本は戒田竜治さん。14日19:30、15日15:00/19:00、16日11:00/15:00。

前売2,500円・当日2,800円

詳細は<http://www.fmz1999.com>にて



劇団大阪新撰組 「吸血姫」

1/21(金)~23(日)

映画『愛染かつら』を元にした、1971年の唐十郎作品を栖参蔵さんが

演出。母性や血縁関係に輪廻の視点から接近。21日19:30、22日14:00/19:30、23日11:00/16:00。

前売2,000円・当日2,500円・中高生800円

詳細は<http://osakashinsengumi.friendhp.com>にて

クロージingtーク

<いのち>を支える三角関係:仕事と暮らしを支える新しい社会システムを求めて

1/30(日) 15:00~18:15(終了後、交流会)

2010年の「流行語大賞」のトップテンの1つに「無縁社会」が入りました。そうして話題にのぼる「縁」ですが、そもそも私たちの暮らしは、とりたてて意識をすることはなくとも、多くの縁(つながり)によって支えられています。そこで、1月13日から開催した應典院「コモンズフェスタ2010/2011:onとoffのスイッチ」の最後は、この時代を生きる関係性の「onとoff」に焦点を当てたシンポジウムを実施いたします。テーマには「<いのち>を支える三角関係」と掲げ、3つの観点に即して、それぞれ異なる3者の対談を通じ、人とまちのつながりに迫ります。

副題に掲げた「仕事と暮らしを支える新しい社会システム」からは、福祉制度のかたちを想像する人が多いかもしれません。しかし、多方面にわたってライフワークバランスという視点が重要だと言われるようになってきました。そこで、私たちの生活世界と社会システムをつなぐ回路を構想すべく、各方面でご活躍の皆さんをお招きします。対話の劇場と化す應典院本堂ホールに、ぜひお越しください。(開催中は出入り自由です)

参加費:100円(特製「onとoffのスイッチ」バッジを進呈)

表現の三角関係:人が生きるステージを創る

- ・戒田竜治(演出家・劇作家:満月動物園)「儀式を敬う」
- ・高島奈々(舞台美術家:七色夢想)「目の前に表す」
- ・山口洋典(アートマネージャー:應典院寺町倶楽部)「思いを届ける」

創造の三角関係:生活の技術を究める

- ・熊野英介(経営者:公益財団法人信頼資本財団)「手間をかける」
- ・山口(中上)悦子(医師:大阪市立大学病院)「改めて<みんな>で動く」
- ・山田貴(活動家:NPO釜ヶ崎支援機構)「風景を数字で語る」

支援の三角関係:語りを待ち信じる

- ・秋田光彦(僧侶:浄土宗大蓮寺・應典院)「文化を引き継ぐ」
- ・尾角光美(自死遺児:Live on)「悲しみに寄り添う」
- ・新川達郎(研究者:同志社大学)「知恵を紡ぐ」

参加型公開リサーチ&イラスト制作プログラム「ひとつだけ」

1/22(土)・1/30(日) 11:00~19:00

「人生の終わりを迎え送り出される時に、ひとつだけ、あなたは何を持っていきますか?」人生の終わりを考えた時、必然的に見えてくる今の自分の在り方。参加者一人一人の想いをイラスト制作するため、もりわきりえさん(イラストレーター)が参加型公開リサーチを展開。

※後日(2月下旬を予定)、作家の視点で切り取り制作したイラストを應典院で展示販売します。

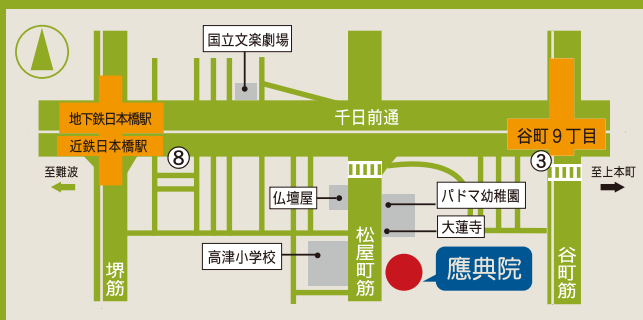
申込不要・参加無料・先着順(場合によっては順番待ちの可能性がありますのでご了承ください)

16年目の1.17

阪神・淡路大震災から16年。今年も應典院では「あの日に思いを馳せる」場と機会を創出いたします。1月17日には染織講師の大石尚子さんによる「117M



みんなで紡ごう、つなごう糸つむぎ)を実施(10:00~20:00)。17日に来場した方に少しでも紡いでいただき、117メートルまで紡いだ糸を用いて編み物にする企画を展開します。最終日(30日)までに仕上げ、クロージingtークの場で発表の予定です。



■地下鉄谷町線「谷町9丁目駅」③番出口より西へ8分

■地下鉄堺筋線・近鉄「日本橋駅」⑧番出口より東へ9分

両駅ともエレベーター設備があります。また應典院は全館バリアフリー設計です。

今回も会期中は特設ブログ:<http://commonsfesta.blogspot.com>を運用、モニターレポーターも募集します!

〈協力〉fence works、PTProduce、remo(記録と表現とメディアのための組織)、b、同志社校友会大阪支部・産官学部会(LCC)、七色夢想、cocoroom、シチズンシップ共育企画、グリーンタイム事務局、満月動物園、劇団大阪新撰組、同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーション研究コース、浄土宗大蓮寺・應典院(順不同)